

2019 年度

指定訪問介護事業
指定介護予防訪問介護事業
指定居宅介護(障害者自立支援法)
指定重度訪問介護(障害者自立支援法)
事業報告書

社会福祉法人福陽会
ヘルパーステーション サンシャインビラ

ヘルパーステーションサンシャインビラでは「人がその人らしく生活できる環境づくり」をモットーに利用者が健康で生活感あふれる日常を過ごせるよう援助することを基本目標とし、事業活動を行った。

サービス提供時間数は本年度延べ 23428.5 時間（前年度 25,162 時間）、派遣回数延べ 27,702 回（前年度 29,602 回）、月平均にすると 1,952 時間（前年度 2,097 時間）、2,309 回（前年度 2,467 回）の訪問介護サービスを提供しました。利用者数は延べ 1,078 人（サービス終了分を含む。3 月 31 日現在実利用者数 92 名）となっています。

障害者自立支援法に基づく指定居宅介護は延べ 105 時間、派遣回数延べ 83 回、月平均にすると 9 時間、7 回のサービス提供でありました。重度訪問介護のサービス提供は本年度はありませんでした。

なお、市区町村の支援事業として実施している移動支援事業のサービス提供時間数は本年度延べ 114 時間、派遣回数は延べ 163 回、月平均では 10 時間、訪問回数は 14 回、利用者数は現在 2 名です。

重点を置いた活動内容として、利用者や家族に対するコミュニケーションの重要性とサービスに対する満足度の調査、ヘルパーの援助方法の向上を目的とし、利用者宅への頻繁な訪問を心掛けた。

利用者の「自立支援」をいかに提供し、また、利用者に満足していただけるサービスをいかに提供するかを、ヘルパー個人への指導、教育、そして基本理念の十分な理解と心のこもった暖かい対応を通してすすめていった。

同時に経験の少ないヘルパーや、資格を得て間もないヘルパーに対し、技術面での具体的な研修や、精神的な援助の方法、コミュニケーションの回り方の相談を行うことで、フォローやバックアップの体制を築いていき、利用者への満足度の増加と危険性の減少、そしてヘルパーの不安解消、実力向上に努めた。

来年度以降も新規利用者の獲得とサービス提供時間数を増やすことを目標とし、また登録ヘルパー全体での研修やチームミーティング等も積極的に取り入れ、ヘルパー個人の対応能力を幅広く持てるようにし、より良いサービスの提供に尽力していく。

(1) 中期経営計画(2018 年度～2022 年度)の達成について

- I 利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかってきた。
- II 中期基本方針に基づき、利用者に満足してもらえる質の高いサービスが提供できた。またサービス向上への取り組み、職員教育にも力を注いだ。
- III 安定した介護報酬収入を目指し、新規利用者獲得へ向け努力した。

研修実施報告書

今年度実施した研修について以下のとおり報告する。

開催日	研修内容	参加者 (人数)
4月24日	新人職員研修(随時) 状況の観察と緊急時の対応 訪問先への責任者同行実施研	46
5月29日	新人職員研修(随時) 防犯研修 訪問先への責任者同行実施研修	47
6月26日	高齢者虐待について	47
7月31日	薬の基礎知識 事例検討	44
8月28日	感染症・食中毒について 事例検討	42
9月25日	医療との連携について 事例検討	43
10月23日	高齢者虐待について 記録の書き方 事例検討	46
11月27日	災害時の対応 事例検討	47
12月25日	事故発生、再発防止に関する研修 ヒヤリハット事例検討	47
1月29日	介護職員のコミュニケーションスキル プライバシー保護の取り組み 事例検討	45
2月26日	認知症について 職員倫理 法令遵守 事例検討	45
3月25日	実技研修 令和元年度を振り返り 自己反省・自己評価	45

職員配置

(2020年3月31日現在)

職種	人数	常勤 非常勤	専任・兼務状況
管理者	1	常勤	サービス提供責任者・訪問介護員を兼務
サービス提供責任者	4	常勤	管理者・訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
訪問介護員	49	(常勤兼務4名) 常勤8名 非常勤41名	